



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

## ROTARIANS

UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE

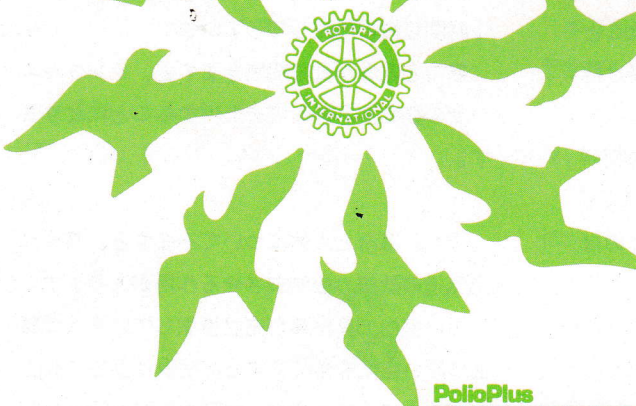
CHARLES C.KELLER

ロータリアン——

奉仕に結束  
平和に献身



2月国際理解月間



PolioPlus



●次回卓語予定者

1988. 2. 19(金) 第17回例会

### 本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング(奉仕の理想)
3. 食 事
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員長報告
7. 点 鐘

## 佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)  
 例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015  
 事務所 〒880-03 佐土原町大字下田島9883番地1

会 長	山 脇	忍
副 会 長	江 藤	康 雄
幹 事	岩 切	正 司
会 計	佐 野	保
会報委員長	垂 水	敏 雄

## 第16回例会記録（昭63・2・12）

会長挨拶 山 脇 忍

皆さんこんにちは、今日は第16回例会であります。

はじめに、例会について若干ふれてみたいと思います。

ロータリーの例会は最も重要なロータリー活動であり、「楽しみながら修練を積む」道場を提供するものであるといわれています。

最近、定例会において、活気のある、充実した、しかも楽しいプログラムにしたいという希望を、会員多数の方が持っておられるようでございますが、このことはロータリーの例会として最も望ましいとされていることであり、会長として責任を痛感しているところであります。

去る親睦会において、会員全員参加のスピーチを通じて実に愉快な楽しい一時を過ごし、非常な成功を収めたことがありましたが、その根拠をなすものは、会員全てが主役であったことによるもので、話す役、聞く役を同時に受け持つことが理想と思います。

このような役割がどちらか一方に片寄り何時でも同じということになりますと、回を重ねるに従ってマンネリ化し、興味を失っていくのは当然の帰結と申せましょう。

プログラムに非常に魅力があり心を動かされるため、会員が例会に出席したくなるというのが理想であります。

そのためには、なるべく会員のスピーチを多く組み込んで行くように計画し、内容も職業に関するもの、趣味、経験談といったようなものがよく、また、会員同志が一層深く知り合い親睦が深まるようなもの、ロータリーを理解させるものが含まれているならば更に好ましいものになります。

クラブ奉仕委員会で検討していただき、多彩でバランスのとれたプログラムを期待します。

次に、今回も公衆衛生について少々ふれてみたいと思います。

インフルエンザウイルスと環境要因についてであります。

まず寒冷であります、ウイルスは他の微生物と同様に生存期間が長くなります。

-75℃ というような温度になりますと、殆どの微生物は半永久的に生存します。

次に湿度との関係であります、乾燥した空気中では比較的長時間生存するが、湿度が上昇してきますと急速に死滅するようになります。

実験によりますと、湿度が28%の空气中に散布されたウイルスは22時間生存しますが、48%では6時間、それが89%になりますと1時間以内に死滅してしまいます。

寒冷と乾燥が長時間続きますと、インフルエンザの蔓延する好環境を提供することになります。

また、寒冷と人体についてみますと、寒冷は上気道の抵抗力を減弱させる作用があります。

温い室内で鼻粘膜が充血腫張している人の顔面に冷い空気を当てますと、粘膜は直ちに貧血して蒼白になりますが、粘膜の腫張と分泌は却って昂進し、ウイルスの感染に好適な状態になります。

冬にインフルエンザの流行が多いのは、室内の密集生活による接触機会の増加の他に、寒冷な空気と乾燥がウイルスの飛沫感染を助長するとともに、生体の上気道粘膜の抵抗力が減弱するためと考えられています。



**世界理解月間中次の項目を実施  
するよう要請されています。**

- 1.元または現財団奨学生をクラブ・プログラムに招待すること。
- 2.青少年交換学生GSE参加者、帰国したボランティア医師、その他の旅行者を講演者としてクラブに招くこと。
- 3.中・高校生を対象に、世界問題セミナーまたは模擬国連総会を主催すること。
- 4.国際的テーマについて、エッセー、スピーチ、校内討論会を主催すること。世界理解と平和の日に賞品を授与すること。
- 5.留学生、外国人来訪者のための歓迎プログラムまたは「国際的集いの夕べ」を用意すること。
- 6.2月の例会で、他国のロータリークラブに乾杯または賛辞を送ること。  
この国におけるロータリー活動をあなたのクラブに説明する。  
ビデオ・録音テープ・スライドをクラブ間で交換する手配をする。
- 7.RI国際奉仕スライド、プログラムの一つを上映するか、学校または地域団体に貸し出すこと。
- 8.海外から訪れた人が木を植えられるような、「平和公園」または「庭園」を造ること。



**幹事報告**

**岩切正司**

- 1.宮崎西クラブの2月19日の例会は、午後6時からに変更通知がありました。
- 2.ロータリー役員必携の案内がきています。  
ご希望の方は幹事まで。(一部1500円)
- 3.チャーターナイトの第1回実行委員会を2月10日に開催し、委員会組織を検討しました。

- 4.当クラブのSAAは、話し合いの結果、上田 悌二委員長・立山周平副委員長・田村勝二委員の3名で円滑に業務を遂行することを確認されました。
- 5.2月14日に都城市で開かれますI.G.Fに、当クラブからは、金丸三男・鈴木正敏会員が出席されることになりました。

**江藤副会長(C・N実行委員長)より**

さきほど幹事から報告がありましたように、第1回会議で、認証状伝達式実行委員会編成表を別紙(配布済)のように起案しましたので、ご賛同いただければよろしくお願いたします。

なお、宮崎北クラブにおかれて、チャーターナイトの指導担当者を指定していただけますなら幸いに思います。(岡本宮崎北RC会長から特別代表・特別代表補佐を中心として相談されるとよい旨のご指示がありました。)

**プログラム委員会より 委員長 江藤康雄**

本日のゲスト卓話を佐土原町長にお願いする予定でしたが、ご多忙のため都合がつきませんでしたので、2月26日の定例会にでも再度お願いしたいと考えております。

皆さんにお配りした「公式訪問報告書」の中に、6月までのクラブの行事予定及び各委員会のプログラムが掲げてありますので、よく読んでおいてください。

2月26日の会員卓話は、ロータリー情報・職業奉仕・青少年奉仕・国際奉仕の各委員会が2月に行事を組んでおられますので、それに関連したお話でもよいのではないかと思います。



卓話「四つのテスト」の由来について  
宮崎北 R C 会長 岡本英敬

例会に久振りに出席させていただきましたが、その都度充実してきていられるように感じます。今日は、「四つのテスト」の由来について話してみたいと思います。

この四つのテストは問いかけるので定義がありません。これはこのテストを行使する人が答を出すことになっておるわけです。

この由来は、1954～55年度の R I 会長を務めました、アメリカ、ハーバード・テラーさんの発案によるものです。

その動機は何にかと申しますと1932年に調理用具とか家庭用品の販売会社が約40万ドルの負債をかかえて倒産寸前になったわけです。そこでハーバード・テラーさんはその会社の管財人に任命されたわけです。早速当座の運転資金としてシカゴのある銀行から6,100ドル借りたそうです。

従って、再建のために何にか他社にはないものを経営理念としなければならぬと思って色々考えた末、社員の人格と信頼の奉仕の心が大切であると気がついたそうです。

そこで、第1に社員の人選を入念に行くと同じに社員の品性向上を図りながら労使協調によって会社再建を図ることが肝要であると信念を深めたそうです。

また、その会社にも経営理念なるものがあつたが長文でなかなか憶えにくいものだったそうです。そこでもう少し簡単でしかも押しつけがましいものでなく、自分で考えて是か非かの判断をして行動するものはないかと考えたものが、この四つのテストであったそうです。

そこで全従業員に説明する前に2、3日間会社運営の総べての面にわたってこの四つのテス

トに照し合せてそうです。その中でまず真実であるかどうかで照し合せてみたところ今までの文書・書状・広告に偽りが多いことに気がついたそうです。

それから更に60日間このテストを会社で試したところ、これは充分価値があると自借を深めたそうです。

そこで早速ハーバード・テラーさんは会社の部長を集めてこの四つのテストを話し、そしてまず4人の部長の宗教はどうか聞いたところ1人はローマン・カトリック、2人目はクリスチャン・サンエンス、3人目は正統派ユダヤ教、4人目は長老教会派でそれぞれ宗教が違っていたそうです。

ところでその4人にこの四つのテストに自分達が信仰している宗教の教義や理念に反するものはないかどうか聞いたところ4人ともこれに反するものはなかったそうです。

勿論、この四つのテストは単に宗教の理念に合致するだけでなく、若し実施に適用するならば、更に大きな成功と発展をもたらすであろうということで4人共意見が一致したそうです。

それから会社の全従業員に公表し、そして四つのテストを皆んなに覚えてもらうと同じに対人関係にも実践することにしたそうです。

早速、この四つのテストに基づいて会社の方針、企画、文書、広告等を照し合せて偽やまぎらわしい文書をなくしたそうです。

また、競争会社の商品に対する悪口とか批判とか誇大広告等を一切なくすると同じに同業者においてほめるところはほめるようにしたそうです。そしてこの四つのテストを20年余実践したところこの会社は40万ドルあった負債を完済し、しかも株主に100万ドル以上の配当金を支払い、また200万ドルを越す資産をもつ様になったそうです。

従ってこの四つのテストがもたらした成果は金銭的なものよりも無形的な成果が大きかったそうです。また得意先、同業者、一般世間の信頼が非常に高まったということです。特に従業員の品性が向上したそうです。

そこでR I理事会は1943年1月にロータリークラブはこの四つのテストに注意し喚起すべきであると決定したそうです。

以上をもちまして四つのテストの由来の話しを終わります。



### 卓 話 G . S . E について

宮崎北RC 直前会長 原田實太郎

お時間をいただきましたので、一言、お話しさせていただきます。

しばらくご無沙汰いたしまして、久振りの訪問でございますが、週報を拝見いたしまして、立派なのに感心をしておりました所でございます。

ただ一つ、スポンサークラブといたしまして気になっていることがございます。

今も、神宮寺さんよりご質問がありましたが、私共宮崎北クラブの出席率は95%位です。

勿論、修正後でございますが、全国の地区の出席率が4ヶ月に一度位、「ロータリーの友」に載っておりますが、これを見ますと、全国平均でも95%位になるのではないのでしょうか。

全国の中で、この273地区が最下位であり、90%位の所であります。

ロータリーは出席からといわれるように、出席を大切にしてください、出来るだけ前取りの

メイクアップをしていただきたいと思います。

私も、本日のメイクアップは、来週水曜日のホームクラブに出席出来ないの、その代りでございます。

どうか出席を大切にさせていただきますよう、スポンサークラブとしてお願い申し上げます。

さて、本題のG S Eの仲でございますが、時間があまりありませんので、かいつまんでお話しいたします。

ロータリーには、ロータリー財団というものがございます、色々な事業をしております。

これは、ロータリアンからの寄付による財団ですが、現在では非常に大きな財源を持ち、大きな力を持っております。

ポリオプラスキャンペーンもそうです。

その他、ロータリー財団奨学生といひまして、大学卒業後の若者を外国で一年間学ばさせる制度、それからG S E (グループスタディエクスチェンジ) という、研究グループの交換制度があります。

今年度は、たまたま私が団長に選ばれて、来月の9日から約1ヶ月、米国のフロリダ州に行つてまいります。

メンバーは、宮崎市から、宮崎医科大学の胸部外科の先生であります松崎君、宮崎日日新聞の県政担当記者の横山君、延岡市から、旭化成の繊維研究をしています古本君、それに鹿児島市から、テレビ鹿児島K T S のレポーターをしております山口君、鹿児島大学教養学部の講師蔵脇君の5名です。

また、先方からのチームが同じく6名きます。

4月21日に鹿児島空港に到着し、5月6日まで鹿児島市内を、5月6日から5月19日まで宮崎県内を巡り、ホームステイをします。

宮崎市には一週間程滞在しますので、その間また皆さん方にも何かとお世話になります機会があると思っておりますので、よろしく御願ひします。

※今回は、スポンサークラブの代表役の方々から、すばらしい卓話を賜わりまして、まことにありがとうございました。

おかげさまで、本紙も充実し、初めて6頁の編集となりました。

※会員の方からも早速原稿をいただき、感謝いたしております。紙面の都合で今回は掲載できませんでしたことをお許しください。なお、今後ご寄稿される会員の皆さんは、できるだけ800字～850字にまとめていただきますと、編集上ありがたく思います。

※来週号には、宮崎北RC会長の岡本英敬先生から、「ロータリーの綱領の手ほどき」及び「ロータリークラブをロータリー国際大学として考えるならば」の特別ご寄稿が予定されています。新会員の私たちが一日も早くロータリーを理解し、同化してもらいたいとのご配慮によるものであります。最も時宜を得たテキストとして、ご期待のうえ、ご熟読のほど、予めお願い申し上げます。

## 出席報告

第16回例会 2月12日(金)

会員数	21名
ホーム欠席者数	7名
ホーム出席者数	14名
ホーム出席率	66.67%
メイクアップ者数	1名
修正出席者数	15名
修正出席率	71.43%
欠席者数	6名
欠席者名	池田・斉藤・宮元 郡司・坂本・吉田
メイクアップ状況	西都 金丸

※風雪に耐えて咲く寒梅があります。

佐土原RC創設期の私たちは、今が風雪に耐えている時でしょうか。

なにしろぎりぎりのメンバーで、委員長独りだけの委員会が11、一人で複数以上の委員長を併任している委員会が3という実情ですから、お互い息を抜く暇がありません。

私事で恐縮ですが、クラブ週報を担当するようになってから、毎週土曜日の午後と日曜日は、タイプでそのまま打てるような編集原稿の作成に追われるようになりました。

※会員が少ないことは、予算面にも大きな影響を及ぼしています。

会計さんのご苦勞を考えると、なるべくお金のかからないような各委員会活動にならざるを得ないことになり、これからの最も大きな問題の一つとして取り組むべきでしょう。

※ロータリーの奉仕の理想が解るのは程遠いことかも知れませんが、例え受動的な定例会であっても、先ず萬難を排して出席する努力が、明日の開花にやがてつながるものと思います。

——— 寒梅の如くに

## ビジター (敬称略)

宮崎北 岡本英敬会長

宮崎北 原田實太郎 直前会長

西都 中川正三

